

平成30年度第1回西宮市生物多様性推進部会 《会議録兼発言要旨》

- 開催日時：平成30年7月18日（水）午前10時～正午
- 会場：西宮市職員会館 大会議室
- 出席委員：服部委員、遠藤委員、佐山委員、小川委員、大谷委員
- アドバイザー（事務局）：(株)里と水辺研究所 田村氏
- 事務局：土木局長 他12名

1. 開催挨拶・・・省略

2. 報告事項

(1) 「広田山公園コバノミツバツツジ再生管理計画」 進捗報告について

- ・平成26年度から保全活動が開始され、平成29年度末までに合計7回の保全活動が行われている。全般的に樹勢も回復してきている。(事務局)
- ・全体的に光の当たるエリアが増えた。コバノミツバツツジの実生も見られるようになったことから、自然の回復力も確認された。希少種のマツバラも発見されたり、かなりの生存率があるので、全般的に良い状況にある。(事務局)
- ・どのくらい開花量としては増えているのか？(委員)

⇒場所によって2倍程度となっているところもあれば、微増のところもある。(事務局)

⇒何倍程度になったのか、数字で表現していただくと分かりやすいので、そのようにまとめていただきたい。(委員)

- ・開花状況の調査について質問。時期は開花期に各地点同時なのか？(委員)

⇒地点ごとに多少の差はあるが、現在の調査結果では、極端な差はなく、ほぼ同時期に開花している。(事務局)

(2) 「未来につなぐ にしのみやの自然ホームページ」 運用状況報告について

- ・ホームページのアクセス数や、新たに登録された生き物について状況説明。(事務局)

⇒今年の夏休みに甲山自然環境センターで昆虫展を開催予定。それに伴い甲山の昆虫を調査している2名の方に情報提供いただいた。全部で1,573種あったので、そのデータをHPに入力している。もともとデータベースに登録のあった種数の半分近くが、一挙に昆虫だけで加わる形になるので、地図への掲載などについて、今後の活用方法などについて検討をする必要がある(委員)。

- ・登録された情報は1件ずつ検証を行っているのか？(委員)

⇒基本的にはホームページの運営事務局で検証をしているが、今回の甲山の昆虫については、時間がかかっている。(事務局)

⇒図鑑等を駆使してすべて確認をするようにしているが、数が多いので、ホームページへの反映については時間がかかっている。専門家の方に同定をお願いする必要がある種もある。(委員)

⇒昆虫の場合は同定に時間がかかったり、新種の場合もあり得るので、ある程度確実にわかるものだけに限るなど、どこかで線引きをしないと労力が大変なので、注意していただきたい。(委員)

(3) 平成30年度に実施する自然調査について

・平成30年度は、市としてため池に関する情報をあまり持ち合わせていないことから、塩瀬町生瀬周辺のため池に関する調査を実施する。なお、水生生物については、調査作業の関係もあり今回は省いている。通常であれば、この会議の中で場所について了承をいただいた上での実施となるが、モリアオガエルの観測なども行うため、一部の場所で、この会議に先立って調査を開始している。(事務局)

⇒水を抜くような調査はされるのか？(委員)

⇒そのような調査は行わない。(事務局)

⇒行政に登録のある池なのか？(委員)

⇒今回の調査候補場所のすべてが、行政に登録のある池かどうかは、まだ確認できていない。あくまでも地図上で確認したものであり、調査前の下見等で現地を確認後、調査の許可の手続きなどをする上で確認を行う。(事務局)

⇒今後はぜひとも水生生物の調査も実施していただきたい(委員)。

3. 検討事項について

(1) 「第3次環境基本計画(素案)」における生物多様性の記載について

・環境基本計画全般に言えることだが、山口地域の写真を掲載していただきたい。また、農体験に関する記載がないので、文章に追記していただきたい。加えて、ブロック塀についても防災上の観点から問題になっていることから、生垣についての記載もしてはどうか。(委員)

⇒生物多様性と減災という2つの問題を重ねて入れるのは、よいと思う。低木林を斜面地に積極的に導入していくというのも、減災につながる。(委員)

⇒写真を探して、できるだけ掲載したい。(事務局)

・生物多様性の場の再生と保全という記載があるが、インパクトを与えるならば保全ではなく「創出」という方がよい。創出する中で、先ほどでた低木林の植栽や生垣も積極的に行うことで、新しく防災の観点も踏まえて取り組むという表現にできるのではないか。(服部委員)

(2) 「(仮称) 第二次生物多様性にしのみや戦略」について

・原稿の戦略にも使われている将来像のイラストについて、実態とそぐわない点がある。(委員)

① 海のイラストについて、街並みなどの背景が書かれていないのに違和感がある。

② 熱帯の蝶がイラストに入っているが、温暖化を容認しているように見える。

③ 西宮ではほとんど見られない生き物がイラストに入っているものもある。

⇒間違った生き物が掲載されている場合は、修正すればよい。背景も、イラストなの

で、修正が可能である。熱帯の蝶については、「ナガサキアゲハ」のことを言われているのかと思うが、これは温暖化が原因ではなく、ミカンの木を様々なところで植えたことが原因で北上しているとされているので、温暖化とは関係ないと思われる。

(委員)

⇒甲山で「ミカドアゲハ」を見つけた人がいて、大騒ぎされた方がいた。もしかして、ミカドアゲハも温暖化の影響と見ることになるのかもしれない。将来像のイラストでは社寺林にいる。(委員)

⇒ヤコンオサムシも神社林の限られたところにしかいないので、おかしいのではないかな。もし入れるなら、マイマイカブリなど子供たちが楽しめる一般的な生き物を掲載した方がよいのではないかな。(委員)

⇒増える見込みがあまりないかもしれないが、理想とする将来像なので、あってもよいのではないかな。そういう数少ない生き物を守っていくのが生物多様性の保全なので、守られない前提にすることはできない。(委員)

⇒あと、ナミマイマイはイラストのように高い場所にいない。この場所に表示するのなら、クチベニマイマイなどの方がよい。まち山に記載のあるチッチゼミについても、このゼミは森林性のものなので、今減っているアブラゼミやツクツクボウシなどに変えた方がよいのではないかな。(委員)

⇒まち山に出てくるベニイトトンボについても、絶滅危惧種で、好きな人は目の色を変えて捕まえに来てしまうようなものなので、別のトンボに差し替えた方がよいのではないかな。(委員)

⇒里山に記載のあるエゾゼミも、西宮では馴染みのないゼミなので、ミンミンゼミやヒグラシなどにした方がよいのではないかな。また、湿原に記載のあるヒメヒカゲについては、全国的に増える見込みが少ない生き物なので、わざわざ西宮の戦略に記載する必要があるのかが疑問である。(委員)

⇒中小河川のイラストには、ゲンジボタルとゲンジボタルの幼虫の両方が記載されているが、どちらか一つでよいのではないかな。また、溪谷のクロツバメシジミについては、ほとんど絶滅しているので、よく似たヤマトシジミなど市民の方が見て馴染みがある生き物に変えてはどうか。(委員)

⇒海浜・干潟のイラストではハマアザミが描かれているが、西宮周辺ではほとんどみられないので、ハマボウフウなどに変えてはどうか。また、マテガイは砂浜のところ生きるものなので、磯のところにいるのはおかしい。(委員)

⇒現実というところで見るとはではなく、あくまでも「望ましい」とするので、どこかで折り合いをつければよいのではないかな？(委員)

⇒長期的な目標である『市内の種の絶滅を招かない』ということと食い違いがなければよいのではないかな？(委員)

⇒直すべきところは直して、理想としても大丈夫なものそのまま生かせればよいのではないかな。(委員)

・今回の改定に際しては、豪雨に対する減災やナラ枯れの問題、シカの問題など、新し

い問題に対してどのように取り組むのかということが記載できればよいのではないか。
(委員)

⇒現計画の中では、防災の観点がなかった。近年、風水害の関係で倒木等が増えているので、そのあたりの視点を入れるとよいのではないか。(委員)

⇒減災の観点から、低木林を積極的に増やすなどがあれば、先進的な事例となる(委員)。

⇒「はじめに」のところに減災・防災に関する文章を入れるとよいのではないか。(委員)

⇒自然災害は生態学ではかく乱現象と言われており、中程度のかく乱現象によって生物多様性が損なわれる。今まではかく乱を抑えようとしてきたが、これからは考え方を換え、多少のかく乱は許容しながら、それらを踏まえて維持されるということを取り入れればよいかと思う。(委員)

⇒今回の大雨で、堰堤が関係する川(広河原)などで大きな石がころがってきたりしてきた。流木がいろいろあつたりもするので、危険になつたりしている。(委員)

⇒「はじめに」のところに追記をするところで考えさせていただく。(事務局)

・目標については、環境基本計画中の記述と整合性を持たせる必要がある。(委員)

・短期目標の1は、何も注釈がないと外来種もカウントされてしまうので、記載を考えていただきたい。(委員)

⇒説明文の中で在来種という説明を加える。(事務局)

・種の絶滅を招かない(334種)において、誰がどうやって確認しているなどの問題が出てくる。行政の役割で希少種の位置情報の内部共有(開発など)をして、種の絶滅を招かないとすると、よいのではないか。(委員)

・目標のところにある「環境学習を通じた人づくり・地域づくり・仕組みづくり」についての文章も、環境基本計画とリンクさせる形で文章を考えてはどうか。(小川委員)

・目標のところについては、事務局が提示した案2でよいのではないか。文章については、本日出た意見を反映させて微修正をくわえていただければよい。(委員)

・西宮市も公園などで希少種を植えてみるなどしてはどうか。(委員)

4. 次回の開催について

次回の開催は、後日個別に調整をさせていただく。(事務局)

以 上